

農林水産業

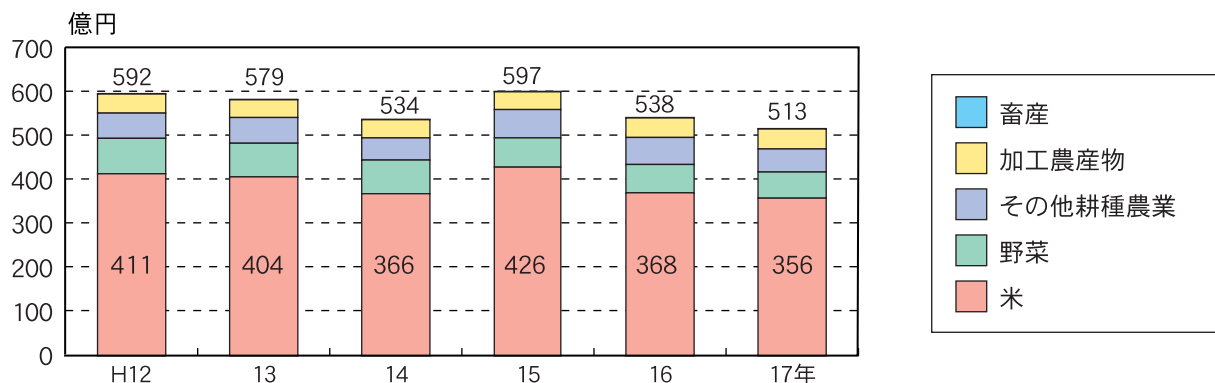
★コシヒカリが水稻作付面積の約7割を占めています★

■福井県の農業産出額は平成15年に増加したものの、近年減少傾向にあります。農業産出額に占める米の割合が高いのが福井県の特徴です。農家数および農業従事者数が年々減少している中で、農業の担い手となる認定農業者数※は増加しています。

■本県の樹種別素材生産量はスギが1番多く、また県産木材の利用率は増加傾向にあります。

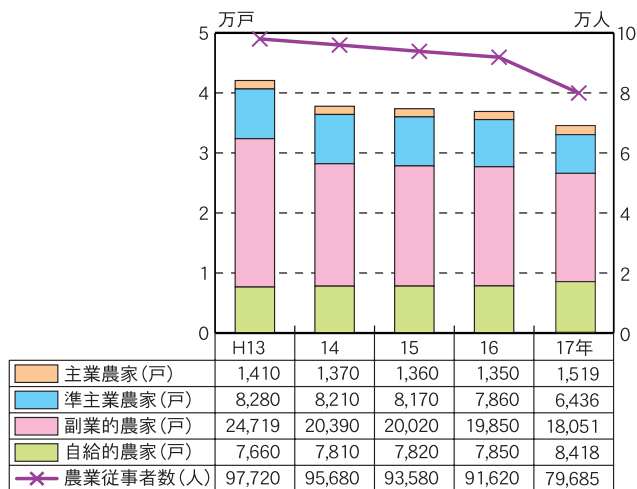
■本県の漁獲量を魚種別にみると、平成17年はイカ類が最も多くなり、次いでアジ類、ブリ類の順になっています。「越前ガニ」の名で有名なズワイガニの漁獲量は平成15年から減少傾向にあります。

農業産出額の推移



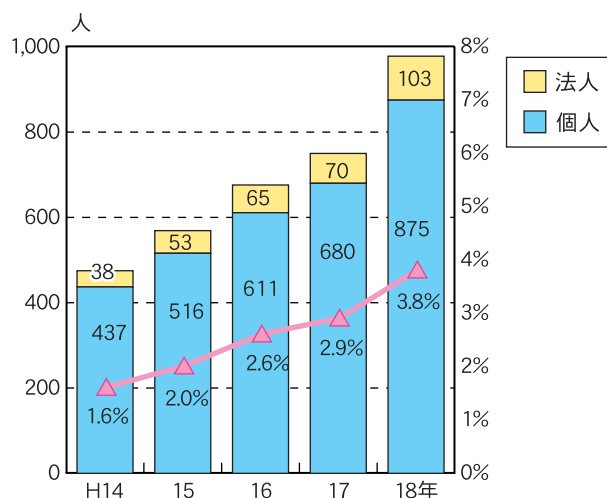
資料：福井農林水産統計年報（北陸農政局福井統計・情報センター）

農家数および農業従事者数の推移



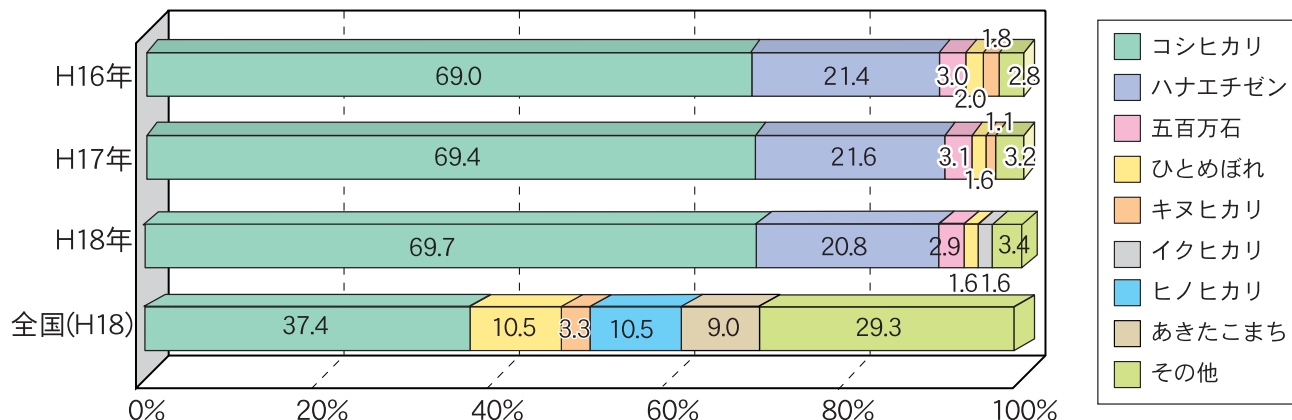
資料：福井農林水産統計年報（北陸農政局福井統計・情報センター）

認定農業者数および割合の推移



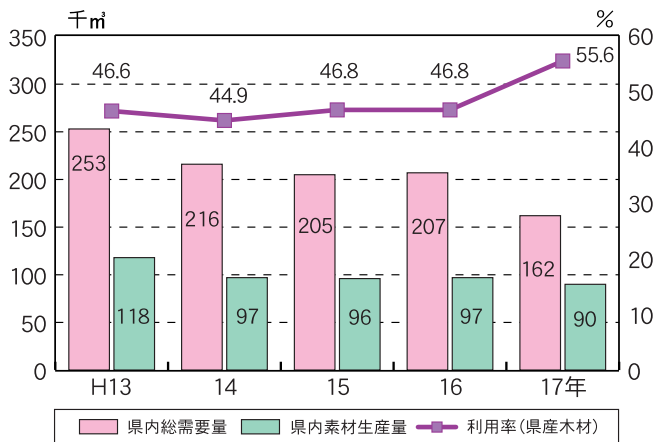
資料：福井県農業技術経営課

水稻品種別作付面積割合の推移



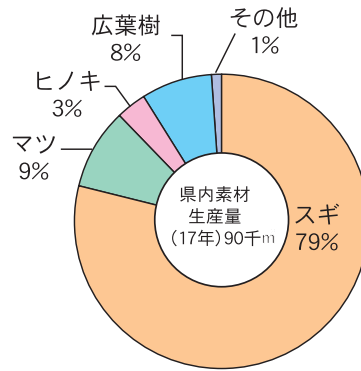
資料：福井作物統計（北陸農政局福井統計・情報センター）

木材の県内総需要量と県内素材生産量およびその割合の推移



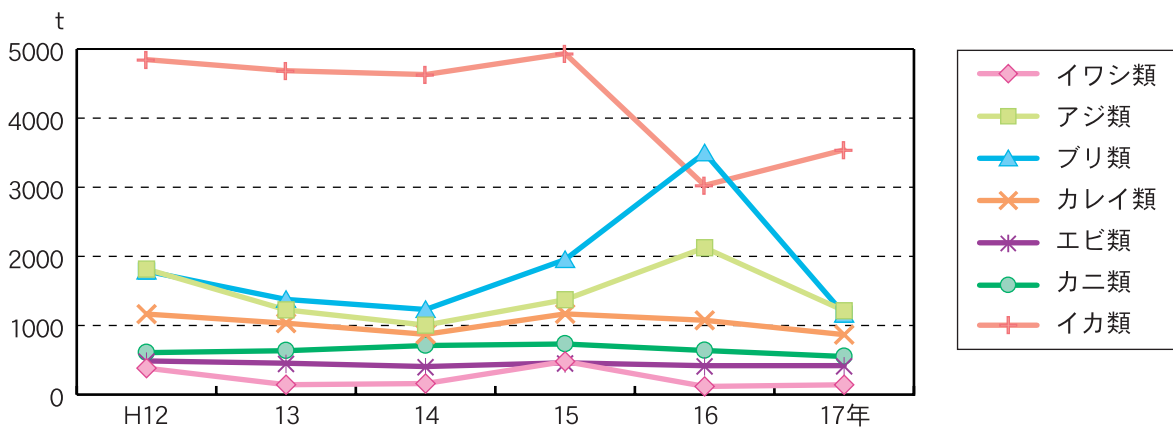
資料：福井農林水産統計年報（北陸農政局福井統計・情報センター）

樹種別素材生産量



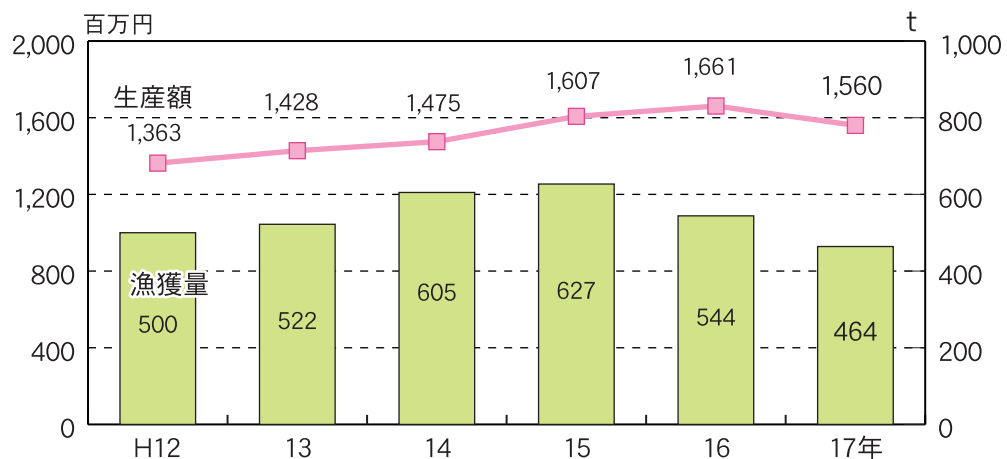
資料：木材需給報告書（農林水産省）

魚種別漁獲量の推移



資料：福井県漁業の動き（北陸農政局福井統計・情報センター）

ズワイガニの漁獲量と生産額の推移



資料：福井県漁業の動き（北陸農政局福井統計・情報センター）

◆コラム◆ イクヒカリ誕生

コシヒカリは、昭和31年に福井県で誕生した品種で、作付面積は全国の稲の作付面積の約40%を占め、昭和54年以来作付面積日本一を誇っています。

このコシヒカリのひ孫である「イクヒカリ」が、平成16年に福井県農業試験場で誕生し注目を集めています。”幾（イク）久しく光（ヒカリ）輝く”米になることを願って命名されたイクヒカリ。倒伏しにくく、さめてもおいしいと好評のようです。平成18年の県内作付面積は1.6%となっています。

<参考> 旬の里ふくい

<http://info.pref.fukui.jp/hanbai/syunfile/index.html>